

2022年度 事業報告

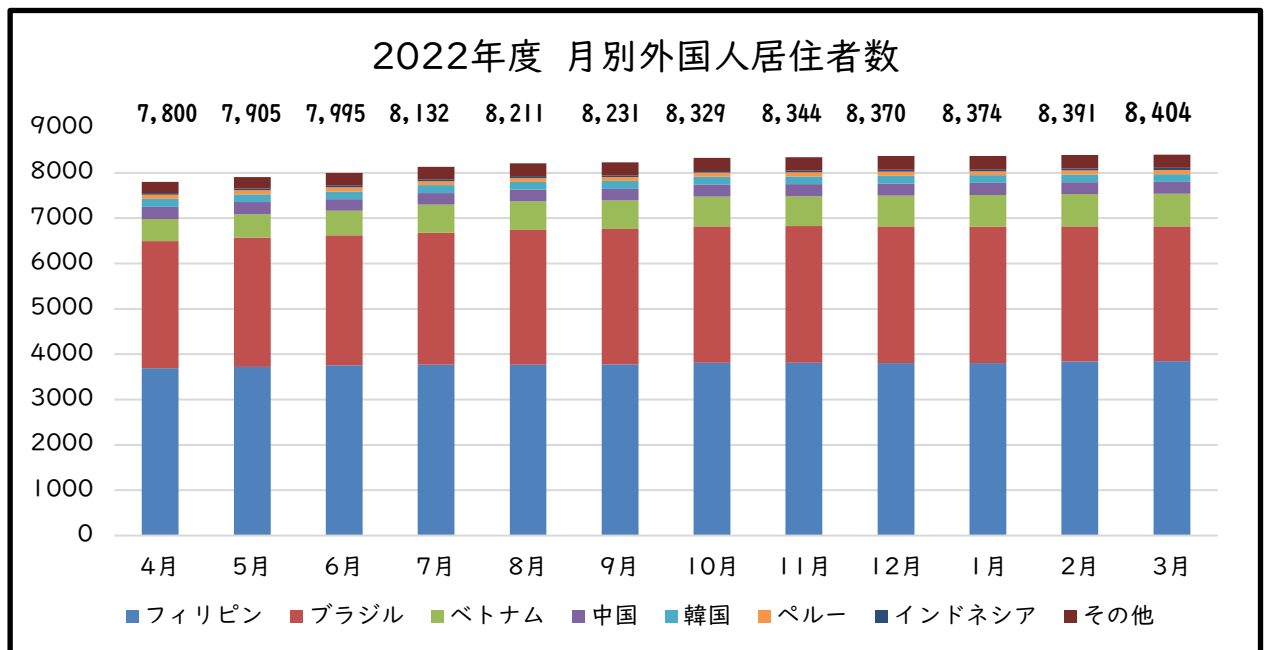
新型コロナウイルス感染症については、対応が徐々に緩和され入国制限や隔離期間もなくなった。それを待っていた人たちの転入が相次いで、外国人居住者数は、過去最高を更新し続けている。特に子どもの呼び寄せについて相談されるケースも多く、学齢超過の子は来日後の学ぶ場所の確認からか、高校進学支援教室のチラシを希望するケースが数件あり、ほとんどが来日すると入室申し込みとなった。

また、多様な国の人々が微増しており、今後の対応を考えていく必要が出ている。

外国人住民は市内に分散し始め、通訳やポテトクなどのアプリの駆使だけではなく、外国人住民の自立に向け「やさしい日本語」での対応も各関係機関でもっと取り組む必要がある。

今渡地区センターで開催している「ワタシバ」メンバーで、今渡地区のイベントに参加した。土田地区では、外国人住民に防災訓練への参加を呼び掛ける自治会や交流イベント「もちつき大会」の開催など、今年度、フレビアだけではなく、地区センターという地域コミュニティの拠点と連携し、地域への多文化共生推進に取り組んだ。

指定管理第4期の管理者として指定を受けた。まだまだ先の見えない5年間ではあるものの、気を引き締めて取り組んでいきたい。



2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人口	100,314	100,445	100,458	100,563	100,618	100,598	100,614	100,641	100,700	100,608	100,546	100,497
外国人	7,800	7,905	7,995	8,132	8,211	8,231	8,329	8,344	8,370	8,374	8,391	8,404
%	7,78	7,87	7,96	8,09	8,16	8,18	8,28	8,29	8,31	8,32	8,35	8,36

毎月過去最高を更新

A 可児市多文化共生センター管理運営事業（可児市指定管理委託事業）

- 1 情報の収集・発信・提供業務
- 2 日本語の学習支援業務
- 3 在住外国人の相談に関する業務
- 4 市民交流の場と機会の提供業務
- 5 多文化共生センターの管理運営業務
- 6 その他総務関連

B 多文化共生にかかわる事業（協会自主事業）

- 1 言語学習支援活動
- 2 定住外国人の子どもの教育支援事業
- 3 地域社会への多文化共生促進事業
- 4 情報交流・発信活動
- 5 協会事務局執務体制

A 可児市多文化共生センター管理運営事業（可児市指定管理委託事業）

I 情報の収集・発信・提供業務

- ・資料・図書の整備・日刊紙の閲覧と関連記事の掲示
- ・多言語での情報提供及びイベント等地域情報等の掲示や提供
営利的情報については、法人会員への勧誘・・・2社が会員登録
- ・HP 整備 チームを組み調整中
メールマガジン 2,427人に配信
フレビア facebook フォロワー3,158人
Instagram フォロワー 94人
日本語教室 facebook グループ 592人 ワタシバ Instagram 97人
動画配信など SNS の活用を拡充した
- ・無料 wi-fi 館内で安定したネット環境を整備した
- ・フレビア便りの発行 毎月 200部

2 日本語の学習支援業務

- ・日本語交流教室
内容：読み書き、会話、グループで学習及び文化体験等
土曜日 19:00～20:30 実施回数：27回 参加者数：102人（累計 274人）
コーディネーター：馬淵
サポーター：今川 孝博、内田 貴子、遠藤 佳代、各務 清香、田中 英次、
田牧 恵子、徳竹 礼圭、吉村 瑞生、小野 ルシアナ（研修）
- ・日曜日日本語教室
内容：地域生活者として必要な会話やことばの学びあい及び文化体験等
日曜日（対面）13:30～15:30 実施回数：27回 参加者数：79人（累計 235人）
（オンライン）13:30～14:30 実施回数：5回 参加者数：3名（累計 3人）
コーディネーター：菰田
サポーター：伊藤 章子、今川 孝博、遠藤 佳代、神谷 明子、岸野 一樹、佐藤 益予、
平田 綾子、古沢 光子、松浦 雅子、山田 久子、小野 ルシアナ（研修）
- ・日本語多様化
■オンライン教室
内容：日常生活に必要な会話や言葉の学びあい
第1・第3土曜日 19:30～20:30 実施回数：15回 参加者数：22名（累計 47名）
サポーター：遠藤 佳代、菰田 さよ、松浦 雅子、馬淵 愛

■豆腐を作ろう！

日時：2022年11月26日（土）9:30～12:30

場所：下恵土地区センター 参加者数：12人 講師：生活改善グループ 味菜の家

<成果と課題>

対面教室に参加する学習者のうち、継続して教室に参加する学習者が少しずつ増え始め、教室でも活動や体験を取り入れた内容を実施することができた。

その一方、オンライン教室の学習者数は昨年度と比べ少なくなっており、コロナの状況も変化してきていることから、目的をはじめ実施時期や内容など、現在の状況を踏まえ見直す必要がある。

3 在住外国人の相談に関する業務

・日常相談窓口（常設）

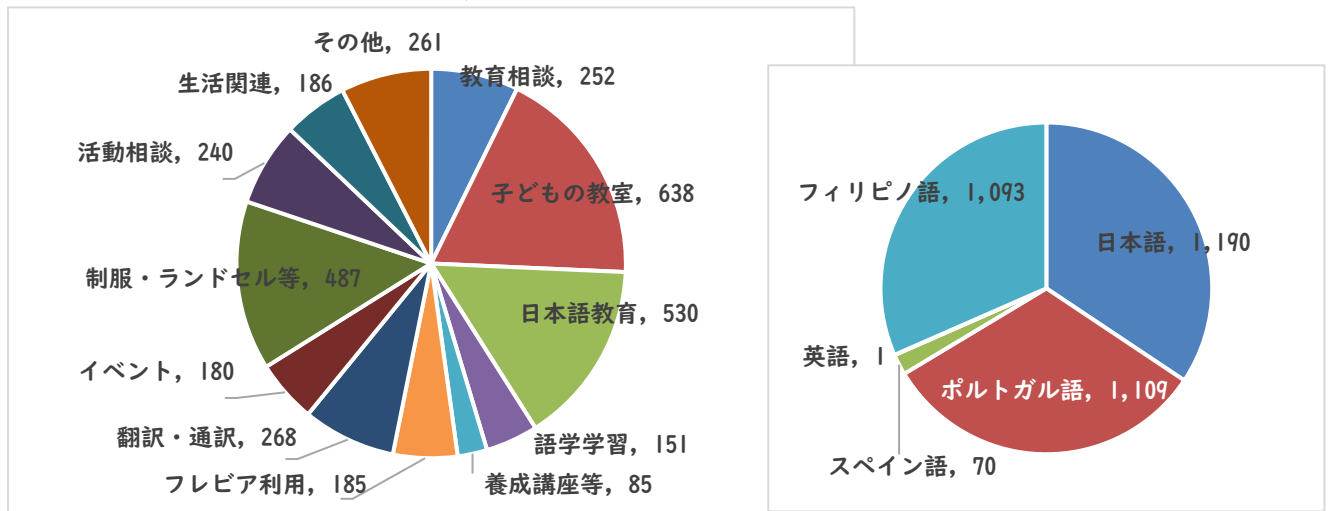
内容：在住外国人の日常生活全般、市民活動や交流・施設利用などの相談窓口業務

外国人相談窓口：9:00～18:00 ポルトガル語、フィリピン語、英語

スペイン語（平日 12:00～21:00 土曜日 9:00～18:00）

日常生活相談等は、開館時間内

・相談件数：4月～3月 3,463件



・災害時対応訓練の実施

多言語支援センター立ち上げ訓練及び災害時ボランティア研修

対象：災害時ボランティア登録者、在住外国人及び外国人に関わっている人

水防訓練 6月5日（日） 可児市の訓練と連動し実施した

可児市防災訓練 9月4日（日） 可児市の訓練と連動し実施した

災害情報を多言語に翻訳し、facebookで生配信した

登録ボランティアも協力

- ・外国人市民のための無料法律相談会（2023年度より毎月実施）
内容：法テラス岐阜とともに法律問題を抱えている外国人のための無料相談会
対象：岐阜県在住の外国人
対象言語：ビサヤ語、フィリピン語、英語、スペイン語、ポルトガル語
3月5日（日） 13:00～15:00（一人30分程度）
相談者：4組
- ・在留資格相談会（来年度より毎月実施）
内容：名古屋出入国在留管理局の職員による在留資格に関する手続き等の無料相談会
対象：岐阜県在住の外国人
対象言語：ビサヤ語、フィリピン語、英語、スペイン語、ポルトガル語
3月10日（金） 9:00～12:45（一人45分程度）
相談者：4組

4 市民交流の場と機会の提供業務

- ・文化理解・交流活動

「多文化共生フェスティバル in 可児 2022」

内容：多様な文化の理解を深めるための文化体験、交流や食で知る多様な文化の祭典

テーマ：世界の文化を体験しよう！

日時：11月6日（日曜日）10:00～17:00

来客人数：400人 オンライン視聴回数：約200以上

運営：実行委員会メンバーが中心になって実施

実行委員会：7月24日、8月28日、9月17日、10月1日、10月2日、10月16日、
10月30日

コーディネーター：ヴィンルアン ジェームス

実行委員：サンチアゴ ナミコ、ヴォ ティ タン フェ、カミリング マルジ、
フェナード コルワーゲ マヒーシャ、KIEA スタッフ

当日のボランティア：

益田 彩、ガリヨ ライル、南谷 弘子、ダパト ライサ、シム ハツ、
エラゾ エリカ、バナレス トウリシャ、シモヒロ フィルナンダ カオリ、
カランテス ヘンリー、ティシエイラ エドアルド、ムコタナ ビビアン
ヤスミツ ヨナ ユジ、マルティン グレイス、クレット レイ、トウ ジェ
ボ ブルナ ヒカリ、西尾 桃子、さつき・かがやき教室の生徒

飲食店舗：

フィリピン 2店	ブラジル 2店	日本 1店
・ニューナナイ	・MOLINA PASTEL	・ブーブーキング
・SACHI`S KITCHEN	・UAI SO BENTO	

企業ブース：

フィリピン 2店
・TOMODACHI
・マルジ クラフト

ブラジル 1店
・brastel REMIT

日本 4店
・株式会社 アイキ
・モノコト クラフト
・SKY 7 MOBILE
・啓林館

・「多文化共生を表現しよう〈多言語で表現しよう!〉」

内容：テーマに合わせて、得意な言語や学習している言語を使って、想いを表現する。

テーマ：「これは絶対に言いたいこと」または「日本で実現したいこと」

対象言語：日本語・英語・ポルトガル語・フィリピン語・韓国語

ベトナム語・中国語・スペイン語・ウルドゥ語

応募総数159作品の中から審査基準を通過した73作品をフレビアのホールに掲示。

フレビアの来場者に投票をしていただき、投票数の多かった上位20名の朗読を録画配信した。

投票期間：2022年10月17日（月）～11月6日（日）

発表会：2023年2月12日（日）

オンライン視聴回数：約183回

<成果と課題>

今年度は、これまでの日本語作文コンテストと成果発表会を合わせ、新しい形で実施した。日本語だけでなく、母語や得意な言語も用いて作文で表現、KIEAの各教室や語学講座受講生も取り組んだ。1つの言語だけでなく、複数の言語を使って表現したり、絵や紙芝居、歌で表現するなどこれまでにはない多様な表現方法で自らの気持ちを表現してもらうことができた。

協賛いただいた企業（多文化共生フェスティバル・多言語で表現しよう!）

株式会社アイキ、BLESS PHIL FUNDS、brastel REMIT、株式会社大桜アネシス
Diva Fit、株式会社可児自動車学校、可児ライオンズクラブ
株式会社新興出版社 啓林館、Luanna Reis Jazz Dance Kids、Nida`s
SKY SEVEN MOBILE、株式会社杉半、株式会社匠、東濃建物管理株式会社
TROPICAL 21

5 多文化共生センターの管理運営業務

- ・センターの窓口業務、使用許可業務（使用申請の受付・許可・利用料徴収）

来訪者数 17,936人

- ・一般受付対応時間：9:00～22:00（常時2名・夜間1～2名 昼間・夜間の2シフト体制）

- ・センターの管理・運営日常業務は協会の事務局スタッフ職員が全て担う

事務管理担当：常時2名体制（一般受付と同じ）

業務時間：昼間業務：9:00～18:00、夜間業務：17:00～22:00

休業日（休館）：毎週水曜日及び年末年始（12月28日～1月4日） 307日開館

選挙のため休館：7月9、10日 10月22、23日

台風接近による警報発令で早めの閉館：9月19日

大雪のため早めの閉館：12月24日

年間来場者数	17,936人
一日平均	58人
研修室利用者	9,905人
開館からの累計数	421,517人

6 その他総務関連

業務委託

- ・施設機械整備 通年
- ・電気保安点検 4/4、6/3、8/5、10/3、12/8、2/7
- ・ごみ収集 毎週火、金曜日
- ・清掃、床ワックス 7/13
- ・防災設備点検 8/9、3/2
- ・空調点検 5/11

ペットボトルの「ボトル to ボトル」リサイクル事業（可児市）

2月1日より開始

修理、修繕など

- ・ホール電球交換（来年度全館LEDに交換）
- ・研修室2、3の電気スイッチ
- ・女子トイレのつまり

*指定管理第3期最終年により、指定管理者申請し、第4期指定管理者の指定を受けた

7月29日 指定管理者選定評価委員会

8月31日 指定管理者指定申請書提出

10月3日 指定管理者選定委員会

訪問者

5	9	月	岐阜県外国人活躍・共生社会推進課
7	12	火	所沢市視察 4名
8	5	金	～7日 インターン受入 加茂農林高校生徒1名
	19	金	まなびや@KYUBAN 川口さん
	20	土	JICA 日系サポーター（浜松）デニゼさん
9	6	火	蘇南中学 職場体験
11	8	火	JICA 中国 新川さん
	22	火	東京外国語大学プロジェクト事務局
1	19	木	文部科学省総合教育政策局国際教育課石田課長、山岸係長
3	3	金	京都文教大学 金先生他

調べ学習の成果を掲示

中部中学校英語部 各国の料理紹介、広見小学校 日本の四季を英語で紹介



所沢市視察



中部中学校英語部

B 多文化共生にかかわる事業（協会自主事業）

I 言語学習支援活動

1) 地域日本語支援者養成講座

- ・岐阜県国際交流センター委託 外国人の子どもの日本語支援者育成研修
外国人の子どものリモート学習支援講座〔入門編〕 全4回

	日時	内容・講師	受講者数
1	9/25(日) 10:00~12:00	「外国につながる子どもの支援」～学校外の支援～ 可児市国際交流協会 事務局長 各務 眞弓 「リモート授業を実施して、分かったこと」 可児市国際交流協会 きぼう教室小・中コーディネーター 善本 安子、バグシカン カリル	13人
2	10/2(日) 10:00~12:00	Microsoft Teams の操作方法 〔インストール・会議の設定～画面共有等の活用〕 可児市国際交流協会 岡田 守弘	15人
3	10/9(日) 10:00~12:00	Google Jamboard の操作方法〔準備～活用〕 可児市国際交流協会 岡田 守弘 オンライン上の教材の活用方法〔ダウンロード～活用〕 可児市教育委員会 教育研究所 指導主事 杉本 和昭	16人
4	10/16(日) 10:00~16:00	オンライン教材を作ってみよう(グループワーク) きぼう教室での活動体験、意見交換会 可児市国際交流協会 岡田 守弘	14人

- ・日本語教師養成プログラム

420時間の日本語教師養成のため、フレビアを大学や関係機関のサテライトとして、
2023年秋開講を目指し、岐阜大学と調整中

2) 子どもの語学学習教室

ポルトガル語を通じ、母国の文化を学ぶ

- ・基礎から学ぶポルトガル語 毎週2時間半

平日クラス：18:00~20:30 金曜日（2クラス）

土曜日：10:00~12:30（2クラス） 15:00~17:30（2クラス）

コーディネーター：馬木照子

講師：坂江 レアンドロ、阿久津 エルザ、スズキ ヘジナ、シノツカ カミラ、

イマムラ ネウザ (2023年2月28日まで)、

セレイ エリアネ (2023年3月11日～)

参加者：72人

- ・ポルトガル語で英語 毎週1時間

講師：坂江 レアンドロ (2クラス)・シノツカ カミラ (2クラス)

土曜日：12:45～13:45 (2クラス) 13:45～14:45 (2クラス)

(英語：6月4日から13:45～14:45…グループ“B”7人で開始)

参加者：46人

- ・グローバル人材クラス 毎週2時間半

期間：2023年3月1日～3月31日 火曜日：18:30～21:00

講師：坂江 レアンドロ

コーディネーター：馬木 照子

参加者：4人

<成果と課題>

コロナ禍後、昨年より申込者は10%増えた。しかし、中学生以上になると、部活や学校の勉強の負担が大きくなり、ポルトガル語の勉強を続けることが難しくなる。そのため、入退室の変動が大きく、安定して学習を継続できる環境づくりが課題である。

ポルトガル語のクラスは、「読んで理解する」ことを重視して、サポートしていきたい。

英語のクラスの申込者は、昨年より15%増えた。英語の勉強を続けることによって、学校の英語の授業がわかりやすくなったという生徒が増えている。

グローバル人材クラスの人数変化はなかったが、アルバイトのためや、進級時の生活変化に対応できず、休む生徒が多かった。生徒は学習意欲があるため、2か月の臨時退室を提案した。

3) 相互理解のための語学学習活動

- ・語学講座 全10回 1回90分 前期 5月～11月 後期 11月～4月

コーディネーター：渡辺 美也子

講座名	講師名	開催曜日	時間	前期	後期
ポルトガル語基礎	ルーデス ミツエ	第2・4木曜日	19:00～20:30	11	16
ポルトガル語会話	坂江 レアンドロ	第1・3木曜日	19:00～20:30	9	9
中国語会話	浜口 旭波	第1・3土曜日	13:00～14:30	5	開講せず
中国語上級	浜口 旭波	第1・3土曜日	14:40～16:10	9	10
ハングル会話	黄 載和	第1・3木曜日	10:30～12:00	12	15
スペイン語基礎	天野 泰世	第2・4土曜日	13:00～14:30	5	7
英語会話	エクセルアカデミー	第2・4火曜日	10:30～12:00	5	7
			合計	56	64

・語学サロン

スペイン語サロン	第2、第4土曜日	10:30～12:00	13名
ハングルサロン	第2、第4木曜日	10:30～12:00	11名
中国語サロン	第1、第3土曜日	10:00～12:00	10名
英語サロン	第2、第4火曜日	11:10～12:10	4名
*ワンコイン(500円)体験サロン			

<成果と課題>

協会のイベント「多言語で表現しよう!」に数名の受講生が参加したことは、成果である。語学講座をきっかけに、協会の活動を理解し参加してもらうためには、繰り返しの広報がさらに必要である。

4) 語学通訳・翻訳活動

- ・通訳業務(外部依頼)12件(ポルトガル語、ベトナム語、シンハラ語)
他地域の入園式、入学式、学校説明会、懇談会など
- ・翻訳業務(外部依頼)66件(1件に複数枚あり)
(ポルトガル語、英語、タガログ語、中国語、ベトナム語、スペイン語)

<成果と課題>

まだ、コロナ禍の影響があるのか、一般の依頼が減り、他団体依頼の翻訳が増えてきた。医療通訳の問い合わせが数件あった。医療、介護現場の生活面の通訳は派遣することができるが、病状、手術等の説明に関する通訳は、人材が確保できていない。

5) 地域日本語教育支援事業

- ・文化庁地域日本語スタートアップ事業アドバイザー派遣
福岡県広川町(6/23、1/26、27訪問)2/24(Zoom)
試行の日本語教室「ひろとも」を見学(1/26)
- ・コーディネーター、アドバイザー派遣
岐阜県国際交流センター依頼:
各務原の日本語教室に派遣 6/22、6/27
白鳥国際交流協会日本語教室 10/6、10/19、10/26、11/7、12/13
- ・企業内日本語
6/7(火) 13:30～15:30 「やさしい日本語」で対話しよう!
講師 東海日本語ネットワーク 副代表 米勢 治子

対象者 職場で外国人従業員と一緒に働いている社員

実施場所 株式会社 デンソーワイズテック

6) KIEA 成果発表会

今年度は、多言語で表現しよう!の「Youtube」配信に合わせて教室活動を報告

2023年2月12日(日)配信

2 定住外国人の子どもの教育支援事業

1) 子どもの就学促進事業 【可見市委託 令和4年度 外国人の子どもの就学促進事業】

統括コーディネーター:各務 真弓

- 在住外国人の子どもの進学支援教室「さつき教室」 場所:可見市総合会館
可見市内在住の外国につながる15歳以上の高校進学を希望する子どもへの日本語と教科指導、入試対策、地域交流など
月・火・木・金 10:00~12:00 (13:00~16:00までは、さつきクラブで実施)
コーディネーター:岡田、佐久川
指導者:大澤日奈子、大澤 まゆみ、沖田 文香、奥田 梨里、加藤 暁美、楠本 凌丈
柴田 緑、夏川 徳子、西岡 裕知、羽賀 順子、花木 三重子、広田 美穂子、
バグシカン カリル、南谷 弘子
在籍者数:17人(退室者3人)

<活動>

5/20 スポーツデー、5/27 進路ガイダンス、6/16 演劇ワークショップ、
7/1 中部学院大学交流授業、8/18 浴衣着付け体験、8/30 SOJIE ワークショップ、
9/15 防災訓練、9/26・27・30 進路学習会、10/14 スポーツデー、
10/20 中学校卒業程度認定試験、10/22・23 にじいろ☆キャンプ
11/6 多文化共生フェスティバル、11/25 中部中学校交流授業、
12/22 巻きずし体験、12/23 生徒企画会、2/3 企業フェア、
2/15 桜ヶ丘小学校授業参加

<学校見学>

6/21 加茂高校定時制、6/27 東濃高校・加茂農林高校、
7/26 八百津高校・加茂高校定時制、7/28 東濃高校、7/29 岐阜各務野高校、
8/8 加茂農林高校、10/6 東濃高校、11/14 犬山高校定時制、
12/8 東濃フロンティア高校

〈進路先〉

学校名	さつき教室	かがやき教室
年間通室者	17人	19人
東濃高校	7人	3人
加茂高校定時制	1人	0人
岐阜各務野高校	1人	0人
本巣松陽高校	0人	1人
土岐紅陵高校	0人	1人
華陽フロンティア高校	0人	1人
八百津高校	1人	0人
退室者数	3人	3人
2023年度継続通室者数	4人	10人
合計	17人	19人

〈成果と課題〉

生徒との面談回数を増やしたり、振返り会を定期的を実施したりすることで、より生徒に寄り添った指導を実現できたとともに、母語が異なる生徒間同士の横のつながりも形成でき学習意欲につながった。また、興味のある学校の先輩と繋がりを持てたことで、生徒の進路の悩みを解決するとともに、進路の選択肢が広がった。

入室時期のばらつきが多いために、既に教室で学んでいる生徒との日本語能力の差が大きくなり、既存のクラスでは受け入れられないケースが多かった。しかし、新しいクラスを開設するには、指導者の数と活動場所が足りず、また、日本語の習得速度の個人差が大きいために、生じる問題が継続的にあり、今後も課題となることが予想される。

■ 在住外国人の子どもの就学支援「ゆめ教室」 場所：フレビア

不就学、不登校、自宅待機の義務教育年齢の子どもへの学校につながる日本語や教科指導体験学習や地域交流、進路ガイダンスなど

2023年1/23～3/24 在籍者数3人 相談者数16人

コーディネーター：近藤

指導者：沖田 文香、尾関 理恵子、菰田 さよ、近藤 利恵、スズキ ヘジナ、

バグシカン カリル、ヴィンルアン ジェームス

支援者：吉實 よしお（JICA 日系サポーター）

〈ケース会議〉

5/26 木 今渡北小学校、5/31 火 蘇南中学校 連絡会議

7/19 火・11/15 火・1/26 木 蘇南中学校

10/11 火 今渡北小学校・蘇南中学校・東濃高等学校 合同ケース会議

<成果と課題>

今までの全欠席のことを思うと、よく参加できた方ではないかと思う。13日/31日稼働。指導者間で、なぜ、学校へ足が向かないのかを考え、今、生徒たちが必要な事柄を授業で取り扱い、一人一人に向き合った。在籍校の先生方も、彼らが学校に戻りやすいように配慮のある対策を講じてくれた。しかし、保護者は送り出しに非協力的であったり、在籍校には関心を持たなかったり、子どもたちのやる気を削ぐような行動をしており、保護者指導が必要であったが、時間を確保することが難しかった。

■ 就学前の準備指導「ひよこ教室」 場所：Lポート可児

小学校入学のための準備指導、集団生活や日本語に慣れる、学校のルールを知るための生活指導等

10月～3月 月～金 9:30～15:30

コーディネーター：戸塚

指導者：野崎 早知、森 あす香、山田 久子、渡辺 幸子、ダニー ダフニー、村瀬 祐子、梅木 智美

在籍者数：30人（認可外保育園との連携により支援した子ども24名、春休みのみ支援した2名も含む）

<課外活動>

牛乳指導（週2回）・給食体験（1/16, 2/10, 2/28）

防災ワークショップ（月1回）・消防署見学（1/16, 2/10, 2/15）

授業参観（12/5-12/16）

絵本の貸出（週1回）&絵本に親しむための活動（2/9, 2/24）

入学準備ガイダンス（1/15）

児童館利用（1/16, 2/10, 2/28）

性教育ワークショップ（1/24, 1/26）

土田小学校見学・体験（2/8）

可児市国際交流協会オンラインイベント「多言語で表現しよう！」への参加（2/12）

交通安全ワークショップ（2/21, 3/9）

演劇ワークショップ（2/27, 2/28）

修了式（3/20）

・多文化子育てサロン（全2回）

※第1回は【休眠預金草の根事業】で実施

日時	内容／講師	参加者数
1月15日（日） 13:30～16:15 ※4回に分けて実施	「にゅうがくじゅんぴガイダンス」 可児市今渡北小学校 主幹教諭 秋山 千穂	18組 39名

<成果と課題>

- ・教室のルールやルーティンを理解し、集団生活や時間割で行動すること、日本語で指示を聞いて行動する・発表する・コミュニケーションをとることなどができるようになった。
- ・保護者、教育委員会、子育て支援課、入学先の小学校、それぞれとの連携により、就学までに重要な手続きや調整、就学後の支援体制を整えるための準備を行うこと、子育て支援課の園巡回指導によるサポートを受けることができた。
- ・教育委員会と教室コーディネーターが連携し、未就園児や来日間もない年長児を積極的に受け入れ、1日でも多く日本語指導を受け、就学に向けた気持ちの準備ができるよう、支援することができた。教室につなげるのが難しいケースでは、外国人児童生徒コーディネーターと連携し、できる支援を行った。
- ・様々な事情で「ひよこ教室」につなげるのが難しいケースや教室終了間際に来日したケース、特別な配慮が必要な子どものケースなどがあり、各家庭や子どもの事情に寄り添いながら、また、関係機関と更に連携を強化しながら柔軟に対応していく必要がある。

■ 補習教室「きぼう教室」 場所：フレビア及び可見市総合会館

・小学生クラス 土曜日 10:00～11:30 11:30～12:30 13:00～15:00

*夏期講習：8月1日(月)、2日(火)、4(木)、5(金) 9:30～12:30

内容：午前クラスは少人数指導を活かした群読、午後クラスは国語・算数を中心に、できる限り個別指導を実施。低学年クラスでは音読・漢字・計算等の集中指導を行った。夏期講習では夏休みの宿題の支援を実施。

コーディネーター：善本

指導者：善本 安子、葉名尻 美保子、遠藤 晶子、木村 さやか、遠藤 姫乃、林 桃花、佐橋 志保子、林 里美、沖田 学哲、中井 佑惟子、西尾 桃子、渡辺 幸子、夏目 葉子、荻野 寿万子、奥村 佳織、山田 久子、林 由佳、尾関 理恵子、岡田 守弘

在籍者数：30人

<成果と課題>

- ・継続的に支援を行うことで、5W1Hのシンプルな構成を活用した文章がスムーズに出てくるようになった、計算で躓く児童の計算力が上がった、句読点を意識しながら、はっきりとした発音で文章の読み上げができるようになった、などの成果が見られた。
- ・事前連絡のない欠席により、指導者の人数過多になってしまう日があった。学校行事を事前に把握するなどできる対策をしていく。
- ・入室希望者の中に特別な配慮を要するのではと考えられる子が目立ってきた。配慮が必要か否かを見極めるため、体験期間を長く設けるなどの対応も検討していく。
- ・中学生クラス 土曜日 15:30～18:30
内容：国語・数学・英語を中心に、学び直しも含めた復習、予習、個々の課題にそった支援を実施。

コーディネーター：バグシカン

指導者：バグシカン カリル、佐橋 志保子、丹羽 保晴、沖田 学哲、遠藤 姫乃
飯田 英樹、林 由佳、尾関 理恵子、中井 佑惟子、サントス エリカ、岡田 守弘

在籍者数：24人

<成果と課題>

- ・なかなか課題と向き合えなかった生徒が学習に励み、「〇〇の勉強がしたい」と自分で伝え、行動にすることができるようになり、学校のテストなどの成果につながった生徒もいた。保護者からも感謝の言葉をいただいた。
- ・小テスト、単元テスト、実力テストを意識して、それに向けてどうしたらいいのか、どうしたら点数が上がるか生徒自ら考えるなど、学習習慣を身につけた生徒が多く見受けられる。
- ・可能な限り個別指導を行いたいが、生徒数に対してサポーターの数が少なく、きめ細やかな指導ができない。自己学習がなかなかできない生徒や受験生を優先するなど工夫をしつつ、サポーターを確保していく必要がある。
- ・中学3年生 8人 高校合格

2) 岐阜県外国籍の子どもの高校進学支援【岐阜県補助事業】

■ 高校進学支援「かがやき教室」 場所：可児市総合会館

義務教育年齢を超えた子どもの高校進学支援、日本語や教科指導、進路ガイダンス

4月～2月 月・火・木・金 13:00～16:00

(10:00～12:00は、かがやきクラブで実施)

- ・中学校卒業程度認定試験対策 8月～10月

統括コーディネーター：各務 眞弓

コーディネーター：岡田、佐久川

指導者：大澤 日奈子、大澤 まゆみ、沖田 文香、奥田 梨里、加藤 暁美

ガブヤ レイゼル、楠本 凌丈、菰田 さよ、柴田 緑、徳竹 礼圭、夏川 徳子

西岡 裕知、羽賀 順子、花木 三重子、広田 美穂子、バグシカン カリル

南谷 弘子、ヴィンルアン ジェームス

面接指導：稲田 静夫、渡辺 武

在籍者数：19人（退室者3人）

課外活動

5/20 スポーツデー、5/27 進路ガイダンス、6/16 演劇ワークショップ、

7/1 中部学院大学交流授業、8/18 浴衣着付け体験、8/30 SOJIEワークショップ、

9/15 防災訓練、9/26・27・30 進路学習会、10/14 スポーツデー、

10/20 中学校卒業程度認定試験、10/22・23 にじいろ☆キャンプ

11/6 多文化共生フェスティバル、11/25 中部中学校交流授業、

12/22 巻きずし体験、12/23 生徒企画会、2/3 企業フェア、

2/15 桜ヶ丘小学校授業参加

学校見学

6/21 加茂高校定時制、6/27 東濃高校・加茂農林高校、
 7/26 八百津高校・加茂高校定時制、7/28 東濃高校、7/29 岐阜各務野高校、
 8/8 加茂農林高校、10/6 東濃高校、11/14 犬山高校定時制、
 12/8 東濃フロンティア高校、12/12 長良高校、12/15 岐阜北高校、
 1/11 明和高校、1/12 本巣松陽高校、1/19 土岐紅陵高校

進路先

学校名	かがやき教室	さつき教室
年間通室者	19人	17人
東濃高校	3人	7人
加茂高校定時制	0人	1人
岐阜各務野高校	0人	1人
本巣松陽高校	1人	0人
土岐紅陵高校	1人	0人
華陽フロンティア高校	1人	0人
八百津高校	0人	1人
退室者数	3人	3人
2023年度継続通室者数	10人	4人
合計	19人	17人

〈成果と課題〉

遅刻欠席の多さや進路決定における親のかかわりなどに課題を感じた。そこで、生徒との面談回数を増やしたり、振り返り会を定期的を実施したりすることで、より生徒に寄り添った指導を実現できたとともに、母語が異なる生徒間同士の横のつながりも形成でき学習意欲につながった。また、興味のある学校の先輩と繋がりを持てたことで、生徒の進路の悩みを解決するとともに、進路の選択肢が広がった。協力を得にくい保護者への対応はまだまだ課題として残った。

中学校卒業程度認定試験の合格率が変わらず低く、中卒認定試験を通しての高校進学が困難である。合格しないことでモチベーションが落ちたり、母国の通信教育を受けるが、日本語力が伸びないという課題もでてくる。夜間中学の開設が待たれる。

また、入室時期にばらつきが多いために、既に教室で学んでいる生徒との日本語能力の差が大きく、既存の教室では受け入れられないケースが多かった。しかし、新しいクラスを開設するには、指導者の数と活動場所が足りず、また、日本語の習得速度が個人で異なるために、同じクラスでの学習が難しい生徒が段々と増えるなどの問題が継続的にあり、今後も課題となることが予想される。多様な背景の生徒たちへの対応に対し指導者のスキルアップ研修や指導者養成も必要である。

令和5年度以降、岐阜県からの補助がなくなるため、可児市外の子どもの受け入れが非常に困難になると予想される。

3) ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク構築推進事業

【休眠預金草の根事業 中部圏創造ファンド】

- ・事業の幹事団体としてコンソーシアムで取り組む。1年目は美濃加茂国際交流協会と実施し、2年目、3年目は、外国につながる子どもの教育を考えるネットワークのメンバー団体に広げていく

《幹事団体としての取り組み》

■ コンソーシアム事業及び現場団体の事務局

■ 岐阜県内の学校外で外国につながる子どもの学習支援をする団体とのネットーク（GFCE ネットワーク）会議

第1回 8月25日、第2回 3月28日

■ キャリア教育

多文化子どもエデュ niho☆nico（瑞穂市）、わかくさ教室（関市国際交流協会）へ進路ガイダンスについてヒアリング

■ 進路ガイダンス

岐阜県教育委員会主催の進路ガイダンス

言語別で実施 9/26 日本語・英語 9/27 フィリピン語 9/30 ポルトガル語

「先輩の話」の先輩のコーディネート 7人の高校生が高校生活を紹介

・LGBTQに関するワークショップ 8月30日（火）

講師: Dan Dagonden Perera Shereen（東京藝術大学大学院生）

・にじいろ☆キャンプの実施

【内容】中高生のキャリア教育につながるキャンプ

10月22日、23日 にじいろ☆キャンプとして、大学生リーダーとともに実施

会場: 乗鞍青少年交流の家（高山市）

【目的】

集団行動、グループ活動の楽しさや意義を見出す

公共施設の使い方やマナーを学ぶ

年齢の近い大学生と活動することで将来の目標を見出すきっかけ作り

【実施内容】

キャンプを実際に企画運営する大学生が、1週間の事前合宿で企画内容を考え準備する

NPO 法人 NICE を通じて募集した大学生（一部社会人）が1週間事前合宿し、準備を進める

「キャリア教育」の時間を設け「ゲスト先輩」から経験談を聞く。

場所: 国立乗鞍青少年交流の家（高山市岩井町913-13）

参加者: 28人 高校生: 6人 ゲストスピーカー: 5人 大学生: 7人 引率: 4人

協力: NPO 法人 NICE

事前合宿先: 天理教東濃大教会（川辺）及び片岡邸（今渡）

- ・支援者研修など人材育成
今年度はネットワーク会議で内容検討
- ・参加団体への支援（アドバイザーやコーディネーターとして事業伴走）

《現場団体①事業》

- ・子どもの日本語 就園、就学に向けた指導「おひさま教室」の実施

4月～9月 月・火・木・金曜日 9:30～12:00

10月～3月 月～金 9:00～15:30

内容：保育園・幼稚園に行くための日本語指導、集団生活や日本語に慣れるための生活指導を実施。また、認可外保育園「Zion Christian Learning Center」・「SHEKINAH EDUSENSE INTERNATIONAL」と連携し、園児への日本語指導も行った。可見市在住の年長児については10月よりひよこ教室へ引き継いだ。なお、市外在住の子ども及び年少児は引き続き支援を行った。

場所：勤労者総合福祉センター Lポート可見

コーディネーター：戸塚

指導者：野崎 早知、森 あす香、山田 久子、渡辺 幸子、ダニー ダフニー、村瀬 祐子
梅木 智美

在籍者数：【4～9月】28人（認可外保育園との連携により支援した子どもも含む）

【10～3月】6人（同上）

<成果と課題>

- ・途中退室を除く全員、年長児24名が公立小学校へ就学、年少児1名が幼稚園へ就園。
- ・可見市子育て支援課との連携（発達が気になる子どものモニタリング、指導方法についての実践的な指導を教えてもらう、市内の幼保向け研修への指導者の参加）
- ・可見市学校教育課との連携（就学に向けた準備支援・情報共有、就学時健康診断参加への働きかけ）
- ・療育にまだつながっていないグレーゾーンの子どもの支援→子育て支援課と連携、アドバイスをもらいながら保護者や連携団体も含めて支援していく
- ・指導者不足→広報を行っていく

- ・多文化子育てサロン（全2回）

※第2回は【可見市委託 令和4年度 外国人の子どもの就学促進事業】で実施

日時	内容／講師	参加者数
9月11日（日） 13:30～16:15 ※4回に分けて実施	「にゅうがくじゅんぴガイドス」 可見市教育委員会事務局 教育研究所 清水 浩栄	19組 43名

・学習支援教室 放課後補習教室 「放課後きぼう教室」

コーディネーター：尾関

指導者：尾関 理恵子、善本 安子、西尾 桃子、水上 英里、磯貝 直美、川中 圭、
荻野 寿万子、林 由佳、渡邊 奈美子、渡邊 七海、大澤 日奈子、石原 健
在籍者数：27人

実施回数：72回（火曜日／木曜日）（6月21日 開講）

【対面クラス】 在籍者数 16名

小学生 火曜日／木曜日 16:30～18:00（8月から17:00～18:00）

・おもに国語（日本語）と算数の基礎学習・ドリル学習

中学生 火曜日／木曜日 18:30～20:00

・おもに数学・英語 1～2年生は教科書ワーク学習、3年生は受験対策など

対面クラスは、苦手部分の克服を目指し、1対1の個別または、1対3のまでの少人数指導を行った。

【オンラインクラス】 在籍者数 11名

小学生 火曜日／木曜日 16:30～18:00（8月から17:00～18:00）

中学生 火曜日／木曜日 18:30～20:00

・ZoomとGoogleジャムボードを使用し、教科書に沿った学習内容を、個別に選択する形式のオンラインプリント学習

・中学3年生は過去問・実カテスト問題も活用し、受験対策など

オンラインクラスは、学校での学習内容に近い内容のプリントを、それぞれの生徒の学習状況に沿って選択し、1対1もしくは1対2で個別指導を行った。

【中学生の夏期講習】：8月2日（火）～8月25日（木） 火曜日・木曜日（全8回）

18:30～20:00 在籍者数 4名

オンライン 模擬試験問題、高校受験過去問等を使用し受験対策指導

対面 夏休みの宿題の支援・7月までの苦手克服対策を実施。

<成果と課題>

現在活動中である、子どもの就学促進事業の補習教室「きぼう教室」を、サポート地域や時間帯などの規模を拡大したいという思いから、今年度から「放課後きぼう教室」がスタートした。生徒からどのような形での支援が求められているのか検討しながら、現在、対面とオンライン、それぞれぐんぐんコースとじっくりコースの4つのイメージで小学生クラスと中学生クラスを設置している。可児市教育委員会から貸与されているタブレット端末を使用できることになり、今後、今まで以上に支援の範囲が広がるのが期待できる。平日の時間帯で活動できる支援者を広く募集し、確保を目指している。支援者、学習者ともにニーズに合った教室を運営していけるよう多くの選択肢を試しながら改善していく。

市内在住の生徒のみではなく、県内市外の生徒も対象となっていて、主にオンラインクラスで支援を行っている。教育支援における地域格差を解消することも目的の一つとなっている。初期指導に近い生徒のオンライン支援の難しさはあるが、オンラインの良さを生かし、翻訳コンテンツや、画像などを活用し、工夫を重ねながら、支援を継続していく。

《現場団体②の事業》 NPO 法人美濃加茂国際交流協会の取り組み

内 容：外国につながる子どものための学習支援

外国籍年長児、小学生1-2年生向け親子での学習クラスの新規設置・運営

参加人数：学習支援（MIRAIⅡ）8人、親子クラス 8組

コーディネーター：武田 由美

2023年度コンソーシアム新規加盟団体

・多文化子どもエデュ niho☆nico（瑞穂市）

・恵那市国際交流協会（恵那市）

4) 高校進学奨学金の交付

・相談者1名（2023年4月10日と4月22日 2回に分け授与）

5) 制服リサイクル活動

・市内小中学校の制服やジャージなどを預かり、利用してもらう

・東濃高校の制服リサイクル協力

詳細は、巻末に記載

3 地域社会への多文化共生促進事業

1) 可児市地域連携事業 【可児市委託 令和4年度多文化共生のまちづくり促進事業】

1. 事業運営会議

多文化共生マネージャー、地域日本語教育専門家、岐阜県・可児市の多文化共生のまちづくりに関わる方々に会議に参加していただき、本事業の取り組みや今後について助言をいただいた。

日時：2023年1月13日（金）14:00～16:00

場所：可児市多文化共生センターフレビア

出席者：米勢 治子（東海日本語ネットワーク）、高山 裕規（岐阜県国際交流センター）

可児 整（今渡自治連合会長）、小林 和矢（今渡連絡所所長）、

安藤 啓治（ワタシバ 教室リーダー）

多文化共生マネージャー：

遠藤 文彦（FM らら）加藤 エジソン（可児市役所）

各務 真弓（可児市国際交流協会）

2. 可児市地域ネットワーク

■ 可児市地域づくりネットワーク会議

会議では、防災・福祉・まちづくり・外国籍市民等に関連する行政・市内NPO団体等が集まり、地域の課題を共有しつつ多様な視点からの意見・情報交換を行った。またそれぞれの防災訓練に参加するなど、災害時の避難所運営を考えた。

参加団体：可児市役所（人づくり課・防災安全課・地域振興課・高齢福祉課）・可児 NPO 協会
可児市社会福祉協議会・可児市防災の会・可児市文化芸術振興財団

- サブ会議

日時：2022年6月2日（木）13:30～15:00

場所：可児市多文化共生センターフレビア 研修室

テーマ：各団体の近況について、今年度の取り組みについて

- 可児市地域づくりネットワーク会議

日時：2022年10月14日（金）18:30～20:00 場所：可児市福祉センター1F会議室

テーマ：今年度の地域に向けた取り組みやその活動の様子、コロナ前後の変化について

ファシリテーター：山田 久子（多文化演劇ユニット MICHI）

アドバイザー：小山 真紀（岐阜大学 准教授）

- 災害ボランティアセンター設置訓練

日時：2022年6月25日（土）9:00～12:00 場所：可児市福祉センター

内容：外国人がボランティアを希望した際の対応も想定に入れた訓練を実施した。

- HUG（避難所運営ゲーム）

日時：2023年2月17日（金）18:30～20:30 場所：今渡地区センター

内容：大雨の際の今渡地区センターでの避難所運営についてゲームに取り組みながら考え、意見交換を行った。

講師：明木 一悦（安芸高田市国際交流協会 代表理事・多文化共生マネージャー）

■地域コミュニティ

- 地域コミュニティ活動「ワタシバ」

日時：毎月第3日曜日 13:30～15:00 場所：今渡地区センター 多目的室

目的：外国人と日本人との交流を通し、日本語を使って、相互理解のはかれる場づくり

実施回数：11回 参加者数：外国人15人、日本人7人（累計41人）

コーディネーター：菰田 さよ 教室リーダー：安藤 啓治

サポーター：南谷 弘子、平田 綾子、渡辺 幸子、佐橋 志保子、沖田 文香、福田 一枝

- 地域活動への実施・協力

- ・土田東山自治会 消火訓練 参加者合計 121人（うち外国人：8人）

日時：2022年9月4日（日）8:00～12:00 場所：東山公民館

- ・今渡地区センター ふれあいフェスタ

日時：2022年10月9日（日）8:00～12:00 場所：今渡地区センター近辺

参加者合計：331人（171世帯）（日本人：308人 外国人：23人）

- ・土田横町 多言語版「広報かに」の配布

期間：2022年4月～2023年2月

- ・市内10か所の地区センターにて連合会長・連絡所長に地域の実情についてヒアリングを実施

- ごみの分別を考えるワークショップ

- 日時：①2022年11月20日（日）10:00～11:30
② 12月11日（日）13:30～15:00
③2023年1月15日（日）10:00～11:30
④ 2月26日（日）10:00～11:30

場所：可見市多文化共生センターフレビア 外国人参加者：5人

内容:どの地域にも「ごみ問題」が課題としてあったため、日本人と外国人の目線を取り入れた、ごみ分別ワークショップを企画。日本人参加者がいなかったため、外国人側を中心とした意見交換・解決策を考えた。ごみ捨てについて、疑問点・分かりにくい部分について意見交換し、既に発行されているもの以外で、どんな方法が伝わりやすいか考え、二次元コードで読み取ることができて、夜にも目立つ看板を作成した。

- まちあるき・マップづくり

内容：まちあるきをして、地域を知ること、住民同士の交流の機会づくりを目的として、災害時（大雨・地震）における、「危険」「安全」や、まちなかの「多文化」「気になるもの」をキーワードにして、まちあるきをしながら参加者目線でキーワードに当てはまるものを各個人で探し、撮影し、地図を作成した。

ファシリテーター：多文化演劇ユニット MICHIE 山田 久子、住吉 エリオ

① 下恵土まちあるき

日時：2022年11月27日（日）13:30～15:30 参加者：11名

場所：可見市多文化共生センターフレビア

サポーター：古沢 光子、遠藤 佳代、伊藤 章子

② 土田まちあるき

日時：2023年2月26日（日）13:00～15:30 参加者：7名

場所：土田地区内・土田地区センター

サポーター：南谷 弘子、伊藤 章子、沖田 文香、亀谷 義郎、大脇 房夫

<成果と課題>

地域によって在住外国人に対する捉え方は大きく異なるが、市内集住地の「今渡」「土田」では問題を前向きに検討しており、ごみ問題や騒音などの課題に対し、直接的な解決を目指すのではなく、「子どもも巻き込んだ交流の機会づくり」を通して、普段からの顔の見える関係づくりを行っていかうとしていることが感じられた。本事業の中の、ワタシバを含む様々な活動の実施を通して、イベントなどに自治会や地区センターと協力しながら外国人も参加できる場づくりをサポートすることができた。日本人・外国人ともに地域の活動に参加することで、お互いをより身近に感じられ、それぞれの視点が広がっていくよう感じる。今後、在住外国人も日本人同様に地域の情報を得ることができるような情報発信や参加への仕組みづくりを検討していきたい。地域の实情に合わせ、自治会や地区センターなどと連携しながら働きかけ続けていきたい。

2) 多文化共生社会を担う地域人材育成事業 【自治総合センターコミュニティ事業】

- ・運営委員会 5月6日(金)
- ・可児市内地区センターヒアリング
 - 久々利地区センター 5/17 中恵土地区センター 5/23
 - 今渡地区センター 6/3 帷子地区センター 6/6
 - 川合地区センター 6/9 広見東地区センター 6/13
 - 兼山地区センター 7/7 平牧地区センター 7/12
 - 下恵土地区センター 11/17

■かに多文化まちづくりサポーター養成講座(全5回)

地域に住む日本人・外国人が安心安全に暮らせるようになるために、在住外国人の背景を理解しながら、地域の課題解決に向けてともに活動する人材の育成を目的とした講座。

全体ファシリテーター：井坂 泰成氏 (MiNOI ファシリテーションオフィス)

日時	内容/講師	参加者数
9月18日(日) 13:30~15:30	在住外国人の状況と地域の課題を知る 講師：大脇 房夫 氏・亀谷 義郎 氏(土田横町自治会) 大杉 守平 氏(中恵土自治連合会長) 各務 眞弓 氏(可児市国際交流協会)	9
9月25日(日) 13:30~15:30	多文化を知る/伝える・伝わる日本語の手法を学ぶ 講師：横山 りえこ 氏(愛知大学 非常勤講師) ヴォ ティ タン フェ 氏 トーマス 吉實 フェリペ よしお 氏 ヴィンルアン ジェームス マイケル カヤノン 氏	10
10月2日(日) 13:30~15:30	事例から学ぶ ~各務原市・近隣ケアグループの活動について~講師：各務原市社会福祉協議会 細野 誠 氏	9
10月30日(日) 10:00~12:00	取組計画の発表	8
11月27日(日) 10:00~12:00	実践の報告・今度に向けて	9

*講座終了後、受講者を「かに多文化まちづくりサポーター」として認定した。

■ 餅つき大会 in 土田

多文化まちづくりサポーター養成講座の中での企画案をサポーター中心に取り組んだ。土田近辺に住む日本人・外国人を対象に、交流の機会作りとして餅つきを実施した。

日時：2023年1月29日(日) 13:30~15:30 場所：土田横町集会所
参加者：28名(大人15名、子ども13名)(日本人9名、外国人19名)
参加者国籍：フィリピン・ブラジル・ベトナム・インドネシア・日本

<成果と課題>

受講者は、これまでほとんど当協会の講座等に関わったことのない方ばかりで、外国人の受講者もいた。全5回という短い講座ではあったが、受講者同士で話し合い考える時間が多かったことで、お互いの意見を聞きながら意見を深め、進めていくことができた。地域の課題に対し、2グループに分かれ、①畑活動を通じた子ども食堂の取り組み、②地域の交流の機会づくりとしての餅つき大会を企画した。そのうち、②の餅つき大会を実際に行うことができた。今後も日頃地域で行われるイベントや、地域で起きている小さな出来事に対して、外国人と日本人との橋渡しとなる「多文化まちづくりサポーター」が増えていくよう、このような取り組みを続けていきたい。

■ 母語支援者の研修（全8回）

日時	内容／講師	参加者数
7月31日（日） 13:00～15:00	母語で支える～学校での支援事例～ 尾張教育事務所スペイン語学相談員 金箱 亜希氏	11
8月7日（日） 13:00～15:00	いま地域で求められている通訳者と相談員とは NPO 法人国際活動市民中心（CINGA） 新居 みどり氏	13
9月4日（日） 13:00～15:00	支援事例と関係機関へのつなぎ方 外国人ヘルプライン東海代表 後藤 美樹氏	9
10月9日（日） 13:00～15:00	子どもに関わる様々な保険 東京海上日動火災保険株式会社 汲田 真帆氏	8
11月13日（日） 13:00～15:00	子どもの将来を見据えたライフプランの立て方 ソニー生命保険株式会社 大野 豊秀氏・高橋 尚氏	7
12月18日（日） 13:00～15:00	在留資格と進路の関係について 名古屋出入国管理局	9
1月15日（日） 13:00～15:00	言語別・学校で働く母語支援者の意見交換会 フィリピン語	5
1月22日（日） 13:00～15:00	言語別・学校で働く母語支援者の意見交換会 ポルトガル語・日本語	6

<成果と課題>

全ての会で意見交換の時間を設けたところ、参加者の多くから会の内容に関して現在悩んでいる声を聞くことができた。アンケート結果も概ね高評価が多く、継続して実施してほしいというような要望もあった。回を重ねるごとに参加者の数が減る傾向があった。理由として日曜日は子供の世話がある、休みたいという意見が多い一方、平日は仕事を終えた後で疲れている、家に帰って家事をしなければならないといった意見もあり、参加者全員にとっての都合の良い日程を組むのが難しいと感じた。

■ グローバル人材クラス 中高生のためのポルトガル語講座（3月は自主事業）

2022年4月1日～2023年2月28日 毎週火曜日 18:30～21:00

講師：坂江 レアンドロ 参加者：4人

- 冊子作成 母語教育10年の成果「サシペレレ教室」からのメッセージ 日本語版発行
日本語への翻訳
編集作業の編集会議 7/18、8/8、9/19
レイアウト、イラスト依頼

3) 2022年度日系人社会研修員受入事業 【JICA 中部委託事業】

- ・ ブラジル本国から日系人を受け入れ、子弟教育への関わりや母語、母文化の定着、家族関係などの在日日系人社会の課題を探り、日本やブラジルでの活動に生かす
ブラジルの文化紹介や、日本語指導などを通じ、在日日系人への貢献につなげる
研修期間：2022年6月19日～2023年3月4日

事業報告会：2月18日（土）

- 5月12日 JICA 中南米部セミナー
- 6月28日 ブラジル総領事表敬訪問
- 7月8日 市長表敬訪問

【研修内容】

- 6月21日～6月24日 リモート研修（KIEA 事業担当者より）
- 7月8日 可児市子ども課研修（4回）
- 7月9日 豊田市保見団地訪問 ジュントス見学
- 7月11日 市役所窓口研修開始（4回）
- 8月18日 JICA 中部 海外にルーツを持つ児童・生徒の教育を考えるフォーラム
- 9月2日 大垣ヒロ学園、大垣市国際交流協会、放課後等デイ訪問
- 9月4日 防災訓練 多言語支援センター設置訓練 災害情報翻訳ライブ配信担当
- 9月7日～9日 浜松市国際交流協会、磐田市国際交流協会視察
- 9月19日 行政相談員窓口研修
- 10月5日 鈴鹿市飯野高校キャリア教育視察
- 10月18日 今渡北小学校、ばら教室 KANI 見学
- 10月20日 蘇南中学見学
- 10月21日 西可児中学校、南帷子小学校見学
- 10月22日～23日 にじいろ☆キャンプ（乗鞍）先輩の話
- 10月29日 JICA 中部地球ひろば講座
- 10月30日 岐阜県人会ワールド大会
- 11月1日 東海テレビ密着取材
- 11月6日 多文化共生フェスティバル in 可児 2022 MC など
- 11月18日 JICA 横浜研修
- 12月8日 広島研修→岡山県総社市→島根県出雲市（教育フォーラム登壇）
- 12月12日 可児市立旭小学校 国際理解教育 ブラジル紹介
- 12月19日 坂祝町教育長訪問 坂祝中学校訪問

- 1月9日 新日本フィルハーモニーニューイヤーコンサート鑑賞
 - 1月22日 JICA 中部 DLA 研修参加
 - 1月23日 イザキニュートン校キャリア教育 講話
 - 1月26日 福岡県八女郡広川町訪問 日本語教室見学及びブラジル紹介
 - 1月27日 広川町日本語教育推進会議に参加
 - 2月3日 JICA 中部活動報告会
 - 2月4日 ブラジル通信制大学 UNIP にてキャリア教育講師
 - 2月18日 サシペレレ 10年誌発行記念シンポジウム 事例報告
 - 2月27日 JICA 中部小森局長フレビア来訪
 - 3月2日 最終報告会
 - 3月4日 帰国
- ・東濃高校多読学習サポート

4) 各種団体・学校等での多文化共生に関する連携協力事業

- ・フレビアを拠点に活動する団体の活動支援
多文化演劇ユニット MICHI の防災等の演劇手法を生かしたワークショップによる情報伝達活動
サシペレレ教室、ひよこ教室、日本語教室にて防災ワークショップ実施
- ・地域連携協力活動
ボランティアセンター設置訓練 主催：可見市社会福祉協議会
6月25日
可見市文化創造センターのまちげんきプロジェクトおよび多文化演劇プロジェクトへの協力
- ・加茂高校定時制 日本語プレゼンテーション大会
9月27日(火) 17:25~20:00 審査員として参加

5) 多文化共生関連団体との連携協力

- ①外国人支援・多文化共生ネットワークの活動協力（入管との連携協力）
2022年度トヨタ財団採択事業「外国人材の受け入れと日本社会」
愛知・岐阜・三重における妊娠、出産、子育てにかかわる支援体制の調査や調査分析からのフォーラム開催
4/22、5/12、8/23
- ・外多ネット報告会の開催
日時：12月16日
会場：外国人在留支援センターフレスク（東京四ツ谷）

- ・調査報告会の開催 保健師さんを中心に報告会と意見交換会
講師：内田千春 東洋大学教授
2月12日（日）会場：フレビア、参加者：8人
3月10日（金）会場：多治見市駅北庁舎 参加者：6人

- ②多文化子育てサロン 共催：NPO 法人シェイクハンズ
定期的な会議を通じた情報交換など
ネットワーク会議 6/30、7/21、9/6、12/21

- ③こころと体の相談会 シャーガス病無料検査
共催：NPO 法人 MAIKEN
赤い羽根報告会 4月27日（水）2021年度実施の報告

- ④NGO との連携 （P26、P32、P33 に掲載）
JICA 中南米部 多文化共生フォーラム
JICA 中部 多文化共生フォーラム
入管デジタルフォーラム

- ⑤「夜間中学と教育を語る会」との連携
4月17日（日）「全国夜間中学キャラバン」夜間中学映画「こんばんはⅡ」上映会

- ⑥「全国高校入試調査」
外国につながる子どもたちの高校入試に地域差をなくす活動に協力し、岐阜県教育委員会にアンケートを依頼し、世話人会により報告冊子が作成された。

6) 市民交流活動

- ・フレビアカフェの常設運営
コーヒーなどのドリンクの提供
研修室使用者や会議等への飲料提供
災害時を意識し、飲料水や非常食のストックも兼ねる
- ・フレビアカフェの日 開催
第3土曜日は、移動販売や趣味のものの販売、発表の場を提供
ケータリングカーでの移動販売実施 月2回

7) 多文化理解教育事業 詳細は P31

- ・学校や各団体への多文化共生に関する講義講師派遣
旭小学校 3 年生 12 月 12 日 講師：各務、吉實
桜ヶ丘小学校 6 年生 2 月 15 日 講師：各務、さつき・かがやき教室の生徒 4 人
- ・サシペレレ 10 年記念誌発行記念シンポジウムの開催（協力：小島祥美研究室）
2 月 18 日（土）13:00～17:00
司会：アガタ アイコ（サシペレレ グローバル人材クラス生徒）
第 1 部 DLA の取り組みについて報告
報告者：小島 祥美 東京外国語大学准教授
吉實 よしお JICA 日系サポーター
近藤 利恵 可児市国際交流協会事務局次長
パネルディスカッション
登壇者：坂江 レアンドロ、スズキ ヘジナ、阿久津 エルザ、シノツカ カミラ
第 2 部 基調講演 「一人一人が輝く教室の作り方」
講師：佐野 愛子 立命館大学文学部 教授
参加者：46 人

8) ドキュメンタリー映画「Journey to be continued」の活用

- ・ドキュメンタリー映画の上映を通じ、日本語指導や在住外国人の青少年への支援のあり方、アートを通じた移民の青少年の生きづらさなどの現状を発信するなど、映画を研修等に活用してもらうよう普及活動を行うとともに、可児市の現状や取組を伝えていく
4 月 17 日（日） 夜間中学を考える 「こんばんはⅡ」と 2 本立て上映会
会場：可児市文化創造センター
講師：関本 保孝氏
参加者：25 人
2 月 10 日（金）小牧市職員研修にて上映
会場：小牧市役所
参加者：34 人

4 情報交流・発信活動

- ・多言語情報誌の発行 毎月 15 日発行 UNIDOS 800 部・MAGKAISA 860 部
ポルトガル語、英語による地域イベントや生活情報提供
- ・メールマガジンの配信（毎月第 1、3 木曜日配信）2,427 通
- ・facebook（フォロワー 3,158 人）、Instagram の活用による情報提供

- ・その他、新たな情報提供として多言語アナウンス、動画配信など検討する
工場内コロナ注意喚起アナウンス 6月11日 フィリピン語、英語、ポルトガル語
可児夏祭り多言語アナウンス 8月13日 英語、ポルトガル語
- ・認定NPOについて申請を検討 申請要件を満たせず来年度再検討

5 協会事務局体制

- ・フレビアの事務管理及び協会事務局体制

常勤7人、パート職員6人で交代勤務（相談員を含む）

開館時間：9:00～22:00 休館日：水曜日及び年末年始（12/28～1/4）

- ・事務局体制

事務局 長	： 各務 眞 弓（事業統括）	フレックス勤務
事務局 次長	： 近 藤 利 恵（日本語教育他）	フレックス勤務
事務局 員	： 馬 木 照 子（ポルトガル語・スペイン語対応相談員他）	12:00～21:00
	菰 田 さ よ（日本語教育他）	9:00～18:00
	戸 塚 真 希（フィリピン語対応相談員他）	9:00～18:00
	佐久川カローネ（ポルトガル語対応）	9:00～18:00
	V・ジェームス・W（フィリピン語・英語対応相談員）	9:00～18:00
	渡辺美也子（勤務シフト 火・木・日曜日）	9:00～17:00
	尾関理恵子（勤務シフト 月・金・土曜日） <small>6月1日～</small>	9:00～18:00
	後 藤 則 之（勤務シフト 月・火・木・金・土曜日5時間勤務）	フレックス勤務
	稲 田 静 夫（勤務シフト 週4日）	17:00～22:00
	岩 永 良 一（勤務シフト 週3日/17:00～22:00、月2回日曜日/9:00～17:00）	
	奥 村 啓 二（勤務シフト 週3日/17:00～22:00、月2回日曜日/9:00～17:00）	
	研修：JICA 日系サポーター吉實よしお	
	実習受入：通信制大学生小野ルシアナ	
	（放課後きぼう教室、日本語教室、日曜日事務所）	

- ・運営委員（会）

指定管理委託事業及び協会運営業務遂行のため運営委員会開催

6月12日（日）

- ・協会役員（理事）会

指定管理委託事業及協会事業執行状況審議のため、年2回以上理事会を開催

開催期日：4月29日（金）及び11月11日（金）

（役員会には 可児市人づくり課担当者もオブザーバーとして出席）

- ・コーディネーター会議

事業の進捗及び協会事業の情報共有のため協会が主催する事業のコーディネーターによる連絡会議

12月23日（金）13:00～14:30

・その他の会議

事務局スタッフ連絡会議の開催：毎週月曜日（祭日の場合は火曜日）17:00～18:00

研究者、大学生等のヒアリング対応

5	19	木	名古屋技能実習生センター 森崎さん
	20	金	へまケア各務原（放課後デイ）永田さん
7	22	金	愛知大学 学生 卒業論文協力
9	12	月	中京大学 学生 卒業論文ヒアリング
	13	火	NEX-I ヒアリング（ヤングケアラーについて）
	24	土	早稲田大学大学院生 自己課題に取り組むためのインタビュー
12	22	木	ボトムアップ型「災害時個別支援計画」作成スキーム確立・普及ヒアリング NPO 法人ふくおか NPO センター
1	5	木	JICA 中南米部計画・移住課インターン生
	24	火	フィリピン人支援への課題 NPO 法人アイキャン
2	28		NPO 法人愛伝舎 国際交流協会の体制について
3	3	金	相談員のメンタルヘルスについてヒアリング 日本精神保健福祉協会

中堅研修受入

8	2	火	今渡南小学校 地域貢献活動 教諭2名
	4	木	東濃高校 地域貢献活動 教諭1名
	5	金	中部中学校 地域貢献活動 教諭2名
	29	月	可茂特別支援学校 地域貢献活動 教諭1名

スタッフが受けた研修、参加したシンポジウム、セミナーなど

5	12	木	食品衛生講習
5	14	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 共通研修 No. 1
	14	土	愛知県日本語教育体制整備事業報告会
5	22	日	岐阜県日本語教育人材育成研修 共通研修 No. 2
5	28	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 共通研修 No. 3
6	4	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 地域日本語コーディネーターコース
6	4	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 日本語指導者コース No. 5
7	25	月	～29日 JIAM 研修「多様性社会を生きる次世代の育成」
9	10	土	ぎふ多文化セミナー日本語教育と地域福祉ができること
10	25	火	子ども・若者相談支援者・相談窓口担当者研修第1回
	25	火	文化庁空白地域解消推進セミナー
11	17	木	移住女性とSDGs:「妊娠・出産への対応力」向上オンラインセミナー
	25	金	子ども・若者相談支援者・相談窓口担当者研修第2回
	29	火	令和4年度第1回外国人相談員等ネットワーク会議
12	15	木	子ども・若者相談支援者・相談窓口担当者研修第3回
1	13	金	子ども・若者相談支援者・相談窓口担当者研修第4回

1	14	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 共通研修 No.6
1	14	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 日本語指導者コース No.7
1	21	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 日本語指導者コース No.8
1	21	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 日本語指導者コース No.9
1	22	日	JICA 中部開発教育研修 「DLA を生かす」
2	4	土	岐阜県日本語教育人材育成研修 共通研修 No.10
2	5	日	2022年度岐阜県子ども支援ネットワーク形成研修①
	11	土	高校等における日本語能力評価に関する予備的調査研究公開会議
	27	月	令和4年度第2回外国人相談員等ネットワーク会議
3	5	日	2022年度岐阜県子ども支援ネットワーク形成研修②
	23	木	ゼロから学ぶ外国人採用 主催：犬山市

依頼があった講義講師、シンポジウム、フォーラム、セミナーなどの講師派遣など

4	14	木	帷子キャンパス : 帷子地区センター
5	12	木	JICA 中南米部 オンラインセミナー多文化共生日本社会を考える
	17	火	桜ヶ丘大学：桜ヶ丘大学地区センター
6	7	火	企業内やさしい日本語研修：デンソーワイズテック
8	18	木	海外にルーツを持つ児童・生徒の教育を考えるフォーラム
9	8	木	中部中学校 先輩の話
	16	金	可児高校「総合的な探求の時間」夏のオープンエンリッチ
	16	金	岐阜官公庁行政相談連絡協議会 講演講師
10	2	日	関市いきあい講座「外国人と人権」
11	24	木	日本司法支援センター岐阜地方協議会 講義
11	25	金	可児市に住む多文化の人との交流 中部中学校
	29	火	可茂准看護学校 人間と生活・社会
12	10	土	島根で考える多文化社会—よそ者、若者が日本と出雲を見てみたら
	12	月	旭小学校3年 総合学習 可児市の自慢 フレビアのこと
	14	水	外国につながる子どもの学習支援研修 主催：横浜市国際交流協会
2	9	木	可児ライオンズクラブ 第1487回例会
	10	金	小牧市役所職員研修
2	17	金	デジタルフォーラム「外国人の子どもたちの未来に向けた連携について」主催：名古屋出入国在留管理局
3	13	月	防災ボランティアセミナー 主催：ぎふNPOセンター
3	14	火	「可児市の魅力発信」発表会
3	18	土	グローバルセミナー 主催：甲賀市国際交流協会

参加会議

4	19	火	可児市国際学級担当者会
5	14	土	可児市議会 報告会
5	29	日	可児 NPO 協会 総会
6	14	火	岐阜県国際交流センターアドバイザー説明会
	16	木	文化庁アドバイザーオリエンテーション
	16	木	可児市幼保小連携協議会（今渡北小学校）
	21	火	外国人支援・多文化共生ネット 会議
	22	水	国際学級担当者会議
	22	水	可児市幼保小連携協議会（南帷子小学校）
	27	月	可児市幼保小連携協議会（土田小学校）
7	4	月	岐阜県多文化共生推進員意見交換会
	15	金	岐阜県多文化共生推進員意見交換会
8	22	月	外国人支援・多文化共生ネット会議
	25	木	全国高校入試調査 東海ブロック会議
	26	木	ぎふ子どもネットワーク会議
9	6	火	第4回可児市発達支援コーディネーター会議
9	20	火	多言語相談企画チーム会議 外国人ヘルプライン東海
10	11	火	多言語相談企画チーム会議 外国人ヘルプライン東海
	13	木	文化庁コーディネーター会議
11	10	木	多言語相談企画チーム会議 外国人ヘルプライン東海
	20	日	可児市議会報告会
12	9	金	岡山県総社市職員との勉強会
2	15	水	可児市国際学級担当者会議
3	6	月	文化庁コーディネーター会議
	6	月	文化庁アドバイザー意見交換会
3	9	木	第5回可児市発達支援コーディネーター会議
3	24	金	可児市教育長とフレビアとの連携を考える会

委嘱委員

岐阜県新庁舎ユニバーサルデザイン懇話会（各務）	10/17
岐阜県人権懇話会	5/26、12/1、2/21
可児市幼保小連携推進会議	4/19、2/13
可児市 NPO 協会 理事	5/14、8/26
可児工業高校学校評議会	6/1、11/10
東濃高校学校評議会	6/21、11/28、1/18
可児高校学校評議会	6/20、11/10
可児市まち・ひと・しごと創生推進会議	8/1（書面）

可児市子ども・子育て会議	9/20、2/22
外国人支援・多文化共生ネット世話人会	5/12、6/5
各務原市多文化共生推進会議	6/12、7/13
ア－ラ評議委員会	6/20、3/6
可児市多文化共生推進会議	7/14、3/15
男女共同参画推進協議会	8/9（書面）
可児市社会福祉協議会	6/28、12/15、3/22

スタッフによる視察・訪問

4	22	金	岐阜大学 山田副学長にご挨拶
5	24	木	認可外保育所シカイナー見学
8	22	月	御嵩町教育長訪問
11	15	火	愛知県岩倉市立岩倉中学公開授業
	30	水	愛知県岩倉市立岩倉東小学校公開授業
12	19	月	坂祝町教育長訪問
3	14	火	恵那市国際交流協会
3	19	日	甲賀市国際交流協会 学習支援教室、日本語サロン見学

取材

4	29	金	NHK 岐阜
11	1	火	東海テレビ 日系サポーター密着取材 ～11/30まで
12	4	日	ケーブルテレビ可児取材
1	12	木	かにさんクラブ取材
2	23	木	NHK 岐阜 田中さん

◆制服リサイクル

いただいたもの全900点 制服や学用品のみ掲載

中学制服 男子用	セーラー服 上下	ジャージ	ランドセル	学生カバン	リコーダー ピアニカ	書道セット 絵具セット	帽子 靴類
59点	32点	353点	28点	22点	18点	10点	33点

上記以外に幼稚園の制服などいただきました

あげたもの

中学制服 男子用	セーラー服 上下	ジャージ	ランドセル	学生カバン	リコーダー 鍵盤ハーモニカ	書道セット 絵具セット	帽子 靴類
58点	31点	379点	59点	28点	17点	18点	58点

2021年（一社）可児青年会議所より贈呈されたジャージは今年度、93点、主にばら教室入室児童、新1年生にお渡ししました。

2019年度に株式会社高島屋さまより寄贈のランドセルは今年度も新入学1年生にお渡ししました。

◆高校の制服リサイクル

いただいたもの

ブレザー	冬シャツ	夏シャツ	冬パンツ	夏パンツ	冬スカート	夏スカート
5点	7点	9点	1点	2点	3点	3点

あげたもの

ブレザー	冬シャツ	夏シャツ	冬パンツ	夏パンツ	冬スカート	夏スカート
7点	7点	11点	3点	8点	7点	3点

◇そのほかの寄付

お米の寄付 デイハウスみい～んな元気さん、一般市民の方2人
お困りの方々にお渡ししました。

